私の合格体験記

卒業生から在校生に贈る言葉

31H　岡部　太我

卒業生を代表して在校生の皆さんに伝えたいことが三点あります。

一点目は自信をもってあらゆることに取り組むということです。私が生徒会長を務めていた時、北陵祭や陸上競技大会など様々な行事に、皆さんはよく協力してくれました。そんな皆さんは非常に優しい心の持ち主で、私は皆さんの優しさに助けられていました。そんな皆さんには思いやりの心だけなく、授業で養った技術と挑戦する勇気も兼ね備えていると思います。だから、不安になることもあるかもしれませんが、もっと自分はできるという自信を持ってください。消極的な人より積極的な人の方が社会でも大いに活躍しています。何事にも積極的に取り組み、いろいろなことに挑戦してください。

二点目は、日々、感謝の心を忘れないということです。金沢北陵高校はとても恵まれています。学習のために必要な材料はほとんどあるし、先生方も信頼できる人たちばかりです。そんな素敵な学校で学べるのは家族や先生方のおかげです。気づいていないかもしれませんが、いつも皆さんを支えてくれています。感謝を表すのは少し恥ずかしいと感じるかもしれません。もしそう感じるなら感謝の気持ちを持つだけで十分だと思います。できるなら一言「ありがとう」と口に出せるようにしてみてください。

三点目は「継続は力なり」ということです。努力をやめないでください。皆さんはこれまで、努力して人生の坂を上がってきました。時にはゆっくり進むことはあっても、歩みを止めないでください。努力をしなくなった時、坂から落ちるのは一瞬です。ここまでの道のりを無駄にしないよう努力を続けてください。私たち卒業生も頑張ります。

最後に、皆さんはこれから進級し、将来の進路について、今までよりも具体的に考えると思います。迷うことはあるでしょう。もう嫌だと投げ出したくなるかもしれません。そんな時は、家族や先生に相談してみてください。もちろん一番話しやすい友達でもいいと思います。大切なことは一人で抱えないこと。皆さんの周りにはたくさんの味方がいます。決して一人ではありません。自分を信じること、仲間を信じることで道を拓くことができます。皆さんの活躍を期待しています。

富山大学

31H　神野　凌輔

私はいつも迷惑をかけている家族や、お世話になっている先生へ、勉強がしっかりと出来る環境を整えてくれることに対する感謝の気持ちを忘れずに勉強しました。当たり前のように勉強ができることへの喜び、各生徒の志望校合格のために必死になって助力してくれる先生方のありがたさ。そういったことを意識して勉強すると、今までは「苦」であったはずの勉強が全く「苦」ではなくなりました。そのおかげで私は目標実現に向けて、何の障壁も無く、ただひたすら集中して受験勉強に取り組むことが出来ました。

私達一人一人が勉強出来ることは、実は当たり前ではなく、様々な周囲の方々の努力と援助のうえでようやく勉強が出来ているのだということをどうか忘れないでください。そして、勉強が出来ることはとても貴重な機会をもらっているのだということも忘れないようにして、己の目標実現に向けて誠心誠意、勉強してください。みなさんの目標や夢が叶うように応援しています。

石川県立看護大学

31H　矢津田風雅

私が石川県立看護大学を受験することを決めたのは三年生になる直前の春休みでした。それまでは英語や海外の文化、生活などに興味があったことから在学中に長期留学をすることのできる大学への進学を希望していました。しかし、二年生の秋に生徒会役員として岩手県立宮古工業高等学校との交流を行い、支え合いの大切さを感じたことから自分の将来について新たな考えや思いが生まれ看護師になることを決断しました。看護師になるにはさまざまな道がありますが、そのなかでも私が石川県立看護大学を選んだ理由としてはアメリカや韓国などでの海外研修が充実していること、また、地域の方々との交流も盛んであるため広い視野を持った看護師になれるのではないかと考えたことなどがあります。

推薦入試に向けた勉強ではまずは英単語を覚えることが一番重要だと思います。また、小論文という名目ではありますが、内容は現代文と英語の長文問題のようなものです。そのためできるだけ多くの問題を解き、要約もできるようにしたほうが良いです。英語では和訳問題もあるので構文も抑えていたほうが良いと思います。面接では自分のことについて聞かれることが多いので、アピールできるポイントを多めに用意しておき、なるべくそれを言えるような流れを自分でつくっていってください。私の場合は生徒会活動、部活動、英語の3つをアピールできるように話を持っていきました。また、覚えきった答えよりも自分の言葉で話をしてほしいということなのでいうことを丸々覚えるよりもポイントだけ覚えてその場で考え、話をすれば良いと思います。大変なこともあると思いますが精一杯の力を出しきれるようがんばってください。

石川県立看護大学

31H　井原　楓

私は先生からの薦めでこの学校を受験することにしました。推薦には九十分で英語と日本語の課題文を読み、小論文を書く試験と、面接官三人との面接がありました。

私は、一学期は学力向上を目標に、日々の授業を大切にすることはもちろん、家庭での勉強時間を少しずつ増やすように心がけました。家庭学習では、小論文の英語の単語を中心に勉強するようにしたり、少し時間があれば携帯アプリの英単語をしていました。二学期に入ると、学校で過去の小論問題を時間を測りながらやり、家庭では英語力向上に努めました。十月後半から試験前日にかけては、学校で小論文をする日と面接する日をそれぞれ決めて勉強しました。本番の面接は初対面の人と会話することになるので、あまり関わったことのない人に面接をしてもらいました。

受験を経験して、英語力は一朝一夕で身に付くものではないので早めに取りかかることが大切だと思いました。また、面接では落ち着いて自分の気持ちや意見を述べることが大事だと思いました。何もかもやっておいて損はないので、頑張って下さい。

石川県立大学

31H　越野遼太郎

高校一年生の時にあった企業・学校見学で県立大学に行き興味を持ち、その大学を目指そうと思いました。

その大学に行くことを目標にし、一年生の時は定期テストでは常に上位におり、進研模試なども必ず受けていました。しかし、一年生の時はまだ本気ではありませんでした。二年生では後期から生徒会役員になりました。正直すごく大変で嫌なこともあったが、振り返れば本当にやっていてよかったと思います。行動力、コミュニケーション能力、責任感を知らないうちに得ることができていました。また模試などにも必ず受けるようにしていました。しかし、この時もまだ本気ではなかったと思います。三年生の二学期から本当に頑張りました。通学の電車の中では英単語を繰り返し覚え、お風呂の時は英単語のCDを必ず声を出しながら聞いていました。県立大学の推薦では英語・理科・面接です。生物では二又先生に土日補習をしていただき、分からない所では質問に行くと分かりやすく教えていただきました。

在校生から卒業生に贈る言葉

23H　坂下　沙葵

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。皆様が、この金沢北陵高校に入学されてから、早三年の月日が流れました。

先輩方は、この三年間、とても長いS字坂や、どこまでも続いていきそうなW坂の階段を毎日上がり、勉学や部活動にうちこんでこられました。友達とのなにげない会話や先生方に学んだ様々なこと、たくさんの思い出が心の中で鮮やかによみがえっていることと思います。先輩方がこの金沢北陵高校を卒業されることには祝福の気持ちと共に、寂しさも感じています。初めて先輩方と出会った対面式、球技大会や陸上競技大会など様々な行事でお世話になりました。文化祭では生徒が見て、食べて、楽しめるように工夫されたクラスオリジナルの商品がたくさんありました。各クラスに個性豊かなデザインの看板が飾られていて、文化祭を盛りあげようという積極的な姿勢にも感銘をうけました。模擬店以外にもバンドやダンスで大いに盛り上げてくださり、とても思い出に残る文化祭となりました。

先輩方には金沢北陵高校で過ごした三年間、楽しいことや、辛いことなど、いろいろなことがあったと思います。進路実現のために遅くまで教室に残り、資格取得や面接練習をしている姿を見て、私達は自分のめざすものの為に必死で努力することの大切さを学びました。

卒業生の皆様は、これから進まれる新たな生活で、環境の変化による戸惑いや困難があることと思います。そのようなときには三年間、金沢北陵高校で培った力で一歩ずつ前へ突き進んで下さい。

金沢北陵高校で先輩方と共に過ごした日々は、私達在校生にとってとても貴重な時間であり、先輩方は私達の誇りです。私達在校生も先輩方が築き上げた伝統を守り受け継ぎ、新たな挑戦、発展に向け努力していきます。時間のある時にはいつでも金沢北陵高校に遊びに来て、お話を聞かせて下さい。

最後になりましたが、これまで本当にお世話になりました。卒業生の皆様のご活躍とご健康をお祈りしております。

石川かほく農業協同組合

35H　上野　歩実

私は、かほく農業協同組合に内定を頂きました。

私はギリギリまで自分のしたい仕事が分かりませんでした。また就職する上で履歴書が重要な役割を果たすと聞いていたので、2年次に系列別の学習がスタートした時から常に"履歴書を意識した学校生活"を送っていました。例えば、部活動に打ちこむ、私は商業系列なので人より多く検定を受ける、委員会に積極的に入る、履歴書に書けるような趣味を作る、ことを2年次から行っていました。そのかいもあり、履歴書を実際に書く時に検定の欄がギュウギュウでみんなに驚かれたり、履歴書用に始めた趣味が本格的になったりと自分の実になることばかりなので、就職活動は3年生からだと絶対遅いです。2年生から、1年生からでも良いくらいです。

また、面接に関してはどんな質問でも臨機応変に対応するため、自分をアピールするため、色んな冊子にある面接で聞かれる必須事項を覚えることは大前提として、面接では何回も練習しました。色々な先生にお世話になりました。

勉強を本気で頑張るには目標を立てましょう。そうすれば必ず頑張れます。後悔しないように本気を出してください。

金沢村田製作所

33H　山田　郁馬

私は北陵高校の卒業後の進路として、金沢村田製作所から内定をいただくことができました。

金沢村田製作所は生産技術系列の人なら何度も先生から聞く機会があると思います。私も何度も耳にしていましたが、そういう会社があるという程度にしか頭にはありませんでした。そんな私が就職に向けてやったことは、多くの資格を取得するということです。授業で挑戦できるものはもちろん、少しでもおもしろそうと思ったものについても積極的に挑戦し、受けたものは全ての資格を取得しました。

資格取得を確実なものにするために私がしたことは、先生方が用意してくださった授業の時間や学校での時間その短時間だけは集中しておこなうことです。私が取得した資格が作業の伴うものが多かったという理由がありますがそのHPを熟知すること、行っている活動とそれに対する自分の意見は言えるようにすればいいと思います。一般常識は取りかかりが早ければ早いほうがいいです。同じ問題を何回もやるのもいいと思いますが、なるべくたくさんの問題を解いて色んな出題の仕方に慣れたら本番も動揺せず解けると思います。

進路実現がんばって下さい。

南商店

32H　中井　薫

私は春から南商店という会社の事務職に就くことが決まりました。この会社に就職するために検定の取得、さらに勉強や部活にも気を抜かないように努力しました。

まず私がこの会社の事務職を目指そうと思ったきっかけは、先生方や親のすすめもあったのですが今まで努力して取得した資格を十分に生かすことができると思ったからです。それに同じ学校の先輩が働いていて、とても心強いなと思いました。資格取得に力を入れることも大切ですが普段の勉強や部活も力を抜かないよう両立に励みました。どちらも力を抜かずにやるということは大変でしたが、そんなときに支えになってくれた家族、先生方がいてくれたからここまでやりとげられたのだと思います。

これから進学・就職する後輩のみなさん、自分が本当にやりたいことを見極めてその進路実現に向かって、自分のペースであせらずに頑張っていってほしいなと思います。応援しています!!

部活動実績

レスリング
- 県高校総体　優　勝
- 学校対抗戦　優　勝　4名／第3位　3名
- 北信越高校総体　優　勝
- 学校対抗戦　第3位
- 全国高校総体　優　勝　3名
- 学校対抗戦　出場／個人　4名出場

レスリング部

- 国民体育大会　第5位　1名
- 全国高校グレコ選手権　2名出場
- 県高校新人大会　優　勝　1名
- 準優勝　1名
- 日韓競技力向上事業
- 日本代表として1名選抜
- 日米親善交流大会
- 日本代表として1名選抜

女子バレーボール
- 県高校総体　ベスト16

卓球
- 県高校総体　女子シングルス　ベスト16　1名

トランポリン
- 県高校総体　Bクラス
- 女子個人　第2位
- 県新人大会　Bクラス
- 女子個人　第2位

吹奏楽
- 中部日本吹奏楽コンクール石川県大会　高校小編成の部　金賞
- 県吹奏楽コンクール　高校B部門　銀賞

商業
- 県高文連商業部競技大会　ワープロ競技　佳良賞　1名
- 県高文連商業部新人大会　英語レシテーション競技　団体　第3位
- 佳良賞　2名

放送同好会
- 「民家の甲子園」石川県大会　団体準優秀賞

吹奏楽部